



2013年10月入職

たけいひろえ
武井 広 恵

人間としての積み重ねが、看護感を変えていく

グループの理念にすごく共感できる

面接を受けるために、はじめて善仁会のクリニックを訪れたときのことです。自動ドアが開いた瞬間、気持ちのいい挨拶が耳に飛び込んできました。いち求職者の私に対して、「これだけ温かく迎えてくれるんだ」と驚いたのを、今でも覚えています。気持ちのいい挨拶と爽やかな笑顔は、安心感を与えてくれると改めて気づいた瞬間でもあります。入職後に、研修体制がしっかり整備されていることを知ったときは、「研修がいかされているな」という納得感がありました。私自身も、グループとして掲げている理念にすごく共感しており、その一員として実践しているところです。

多くの支えがあって、今のライフスタイルがある



看護師としてのキャリアを改めて振り返ってみると、出産や育児を経て、看護に対する考え方が少しずつ変わっているように思います。例えば患者さまにアドバイスするとき、以前は「こうしてください」と一方的に伝えていたのですが、今は患者さまの思いを汲み取るよう努力しています。アドバイスをする前に、患者さまの心情をイメージしてみる。たとえば体重が増えた患者さまに対しても、「食べてはいけません」と言うのではなく、「美味しいものがあると、つつい手

伸びますよね」という風に相手に共感することからはじめるようになりました。患者さまが「ちょっとずつ減らしていこうかな」というように、治療を前向きに捉えられるようになったときは、とてもうれしく思います。

考え方が変わった理由としては、まわりへの感謝が大きいと思います。今は家庭や子育てと仕事を両立させた生活を送っていますが、このライフスタイルを実現できているのは、多くの方たちの支えがあってこそ。そういった感謝の気持ちが仕事にも反映されているような気がします。人間としての積み重ねが、看護にも表れていると言えるかもしれません。そう考えると、看護師とは奥深い仕事だなと改めて思いますね。



誠実に 謙虚に

心を込めて

看護してまいります

武井広恵